諫早市立真城小学校　学校だより　第１６号　　令和８年１１月１０日　　☎ 26-8700
学校教育目標　一人ひとりが主体的に学び、共に支え・磨き合いながら、夢を実現できる子どもの育成　　校長：竹添聡

真城っ子

やさしさいっぱい
かしこさいっぱい
たくましさいっぱい



■真城小学校ホームページ■　日々、真城小学校の様子や子どもたちの活動を投稿中。　*毎日チェック♥*

５年宿泊学習（自然の家）



１１月５、６日、５年生が諫早自然の家に、宿泊学習に出かけました。１日目は、あいにくの雨でしたが、雨天時プログラムで、ねらいに沿った活動を実施することができました。

【ねらい】
・ルール（集団生活の中できまりを守る。時間・あいさつ等）
・協力（仲間と協力し、楽しい活動にする。）
・自然（自然のよさを見つけたり、感じたりする。）





I-CAP や野外炊事では、みんなと協力して活動を進めようとする姿が光りました。自分のことだけでなく、集団のためになる片づけなどを進んで行う班もあり感心しました。宿泊施設では、布団のたたみ方が分からなかったり　朝食バイキングで食品のいびつな取り方（大量、偏食）をしたりする子がいました。生活力をつける主体的な生活をさせねばならないと感じました。今回の宿泊学習で得た成果、課題を、今後のよき成長（自立の力と共生の心）に、しっかりつなげていきたいと思います。





働くって何だろう？



11 月 23 日は、勤労感謝の日です。この日は働くことや働く人に「ありがとう」という感謝の気持ちを伝える大切な日です。社会にはいろいろはお仕事をしている人がいます。働いている人がお互いに支え合って、私たちの生活は成り立っているのです。

私たちが生きていくためには、家や食べ物、着るもの等、様々な物が必要です。それを手に入れるにはお金が必要です。私たちは、働くことでお金をもらうことができます。みなさんは、お家の人が働いてくれることで、ご飯を食べたり、必要なものを買ってもらったりすることができるのです。勤労感謝の日には、お家の方に感謝の気持ちを伝えられるといいですね。



みなさんも将来は自分で働いて、自分で生活するようになります。働くことはお金をもらうだけでなく、やりがいや生きがいにもつながります。憧れの職業に就いて活躍したり、人に感謝されたりする等、働くことは、きっと誰かの幸せにもつながることでしょう。

交通事故に注意



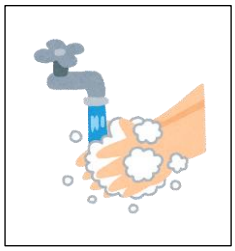
秋も深まり、日没からあたりが暗くなるまでの時間が、随分短くなってきています。諫早市統一ルールで、**「冬季の帰宅時刻は午後５時」**となっています。塾や稽古事はその限りではありませんが、保護者の送迎が基本となります。自動車から歩行者の認識度が低くなる夕刻から暗がりにかけて、子どもの道路歩行、道路横断には、いっそうの注意が必要です。学校でも指導は行いますが、ご家庭でも、命を守る交通安全の指導を繰り返しお願いします。



○　R８県内交通死亡事故(８月末)　　１０人　：前年比　0.5 倍
○　R８交通事故数(８月末)　　１，５９４件
○　日没後・夜間の交通死亡事故　　昼間の１．５倍
★　日没後の自転車乗車は、極めて危険です。無灯火、反射材なしは、もっての外！
★　お子さんを車に乗せる時は、一般道でもシートベルトを締めさせましょう。
★　一時停止、安全確認の徹底、手を挙げてドライバーへ存在アピール

→ 子ども達が交通事故にあい、命を落とすことがあってはなりません！

この冬、ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ・感染症にしっかり対応する！





日ごろから…
①こまめに手洗いをする。
②うがいもする。
③部屋の換気も心掛ける。
④栄養、睡眠、運動



こんな時は、**マスクの着用**を考えよう！



①熱っぽい。体調が優れない。
②咳がでる。
③大人数の場所に行く。
④病気が治ってすぐ。
⑤家族の体調が悪い。



※**予防接種（ワクチン接種）**を検討してみる価値は、十分あると思います。

まだ小学生、自立するための支援、手助けは必要です。子どもの健やかに生きる権利を決して犯してはいけません。

「児童虐待は、ぜったいにダメ！」

身体的虐待　児童の身体に外傷を生じ、又は生じる恐れのある**暴行を加える**こと
性的虐待　児童に**わいせつ**な行為をすること
ネグレクト　児童の**心身の正常な発達を妨げる**ような著しい**減食又は長時間の放置**
その他の**保護者としての監護を著しく怠ること**
心理的虐待　児童に著しい**心理的外傷を与える言動**を行うこと

